

平成 24 年 1 月 17 日 00049 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-61-4804 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター 【少林寺拳法】北見市少林寺拳法協会の鏡開き式典

北見市少林寺拳法協会の鏡開き式が 1 月 8 日(日)午後 6 時 30 分より東相内専有道場で金剛禅総本山少林寺の式典要領に基づき執り行いました。式典の最後に道院長の法話があり、今年は、昨年に引き続き少林寺拳法の組織による東北被災地への支援や諸行事



について、さらには、それぞれが目標を掲げその目標に向けて努力することなど今年 1 年の抱負を述べた。その後、今年初めての稽古に入り入念な準備運動を行い、基本突き蹴りや単演を行い、最後に無病息災、健康を祈願し、お汁粉を振る舞い、和やかな雰囲気の中で式典並びに稽古始めを終えることができました。(宮末)



【居合道】初抜き会開催

1 月 9 日(月)、平成 24 年度北見居合道連盟初抜き会が東トレーニングセンター 2 階において午後 7 時より開催され、参加者は各自 5 本の自由業・着座・刀礼の後、高段者による演武・通常礼式が披露を致しました。北見居合道連盟会長 玉槻芳久先生(範士八段)からは、「私が居合道を修業するに当たって常々思うことは、居合道が大道を修練するものである以上、先ず第一に大切なことは、人格の陶冶と高い識見を身に着けることにあり、一塊の剣術使いになる為の修業を我々はして



いるのではないということです。兵法に少しでも近づくために修業をしています。兵法の中には技もしかり精神的な色々な文言が含まれており、常に道義を重んじ正しい道を踏み行つて斯道発展の為、至誠一貫、不断の精進努力徹しなければならぬと確信しながら行っていることです。」とのコメントを頂きました。(佐藤英雄)

【弓道】平成 24 年射初会

1 月 9 日、厳寒のなか北見市弓道場において射初会が開催されました。新年最初の行事であるこの射初会には 21 名の会員が参加し、健康や今年の抱負を祈願して弓と矢を手にししました。最初に恒例となっている年男・



年女による演武が披露され、辰年生まれの男女 4 人は静粛な射場で緊張しながら慎重に弓を射ていました。また参加者による一手射礼も行われ、28 メートル先の的に真剣に向き合っていました。月例会も同時に開催され、適度な緊張と和気あいあいのなか射初会が盛会裏に終了いたしました。(今野)

